

「青梅の森」ヒストリー

・・・誕生～現在（略歴）・・・

年 代	出 来 事
昭和40年代～	民間事業者による大規模住宅開発が計画されるが、その後の社会や経済状況の変化から民間事業者が倒産し、住宅開発は実施に至らなかった。その後40年以上手入れがされないまま放置されたが、民間事業者所有地を青梅市が買入れ、開発から保全へと方向転換する。当時「永山北部丘陵」と呼ばれる。
平成20年7月	「永山北部丘陵保全委員会」設置
平成21年3月	公募により「永山北部丘陵」を「青梅の森」と命名
平成21年4月	「永山北部丘陵保全委員会」からの提言をもとに、「永山北部丘陵保全計画」策定
平成21年10月	「青梅の森事業計画検討委員会」設置
平成22年1月	「青梅の森特別緑地保全地区」として、都市計画決定
平成22年7月	「青梅の森事業計画検討委員会」からの提言をもとに「青梅の森事業計画」策定
平成25年4月	「青梅の森運営協議会」設置
平成25年10月	「青梅の森柚保プロジェクト」設置（通称：柚プロ）
主な整備状況	平成23年度～平成26年度：幹線通路、散策路等整備 平成26年度：展望広場整備 平成27年度：リスの展望広場、マツボックリ山展望台整備 平成28年度：アカマツ広場整備

※「柚プロ」とは：青梅の森およびその周辺で市が管理する地域において、保全活動等を行う各種団体等と青梅市が協働で青梅の森保全事業を行うことを目的に設置。

「柚プロ」参加団体

- ・ NPO法人青梅りんけん
- ・ 青梅さとやま散歩の会
- ・ 青梅の自然と環境を守る会
- ・ 青梅の森・ひさかきの会
- ・ 森林ボランティア森守会
- ・ 西多摩自然フォーラム
- ・ 日本野鳥の会奥多摩支部